

平成 18 年度第 5 回 太田地域協議会会議録

と き : 平成 18 年 11 月 30 日 午後 1 時 30 分 ~

と ころ : 太田文化プラザ「生活実習室」

太田地域協議会会議録

平成 18 年 11 月 30 日 (木曜日)

議 事

協議事項

- (1) 地域枠予算について (資料 1)
 - ・ 地域活性化推進事業の追加
(県民栄誉章受章 小松由佳 (文化講演会)
 - (2) 平成 19 年度地域枠予算について (資料 2)
-

出席した者の氏名

出席委員 (16 名)

加藤進委員	伊藤昭子委員	大信田弘喜委員
大信田康雄委員	草薨太郎委員	倉田良子委員
小松一男委員	小松誠委員	今野勝代委員
鈴木弘之委員	鷹觜信行委員	高橋美佐緒委員
田口誠毅委員	福原榮司委員	藤澤由希子委員
藤原鈴司委員		

欠席委員 (2 名)

佐々木ミネ子委員
田口良平委員

太田総合支所

太田総合支所長	鷹觜 均	地域振興課長	大信田哲男
地域振興課参事	川瀬京子	地域振興課副参事	鈴木喜一
地域振興課副主幹	鈴木セイ子	地域振興課主査	小松明彦

午後 1 時 30 分 開 会

地域振興課長

本日は、お忙しいところご出席くださりまして誠にありがとうございます。
ただ今から平成 18 年度第 5 回太田地域協議会を開会いたします。

本日の協議会は、委員の2分の1以上が出席しておりますので、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第9条第3項の規定により本会議は成立したことをご報告いたします。それでは早速会を開催いたします。最初に太田地域協議会加藤会長よりごあいさつをお願いいたします。

加藤進会長

それぞれ冬支度等で、お忙しいなかご出席いただき本当にありがとうございました。常日頃地域協議会に対しましてはご指導ご協力をいただきまして本当にありがとうございます。

報告であります。10月27日大曲庁舎において、大仙市の地域協議会の会長がお集りになって会議が開催されましたが、会議の内容は、各地域の情報交換ということでありました。今後この会は、年に1から2回程度開催するというものであり、また、この会は、任意の会であるということでした。会議の中で地域枠の予算のお話が出されまして、額は別として来年度も、継続されるという、本庁の地域政策課の話でした。その後、東部3地域の地域協議会委員の研修会の打合せをしましたが、会場、進行等太田地域で行って欲しいということですので今日、みなさんにご難儀をおかけすることですがよろしく願い申し上げます。今回の地域協議会の協議事項は、「地域枠予算について（地域活性化推進事業の追加）」1件と、「平成19年度地域枠予算について」1件、その他といたしまして、「シルバーシャトルバスの運行事業の課題検討について」であります。よろしく願い申し上げます。今日は、2時30分から東部地域協議会の研修会がございますので時間は、あまりございませんが、どうか皆さんの忌憚のないご意見を伺いたいと思います。よろしく願い申し上げます。今日は、18年度の地域枠予算について、ゆっくりと審議していただきたいと思いますが、平成19年度地域枠予算についてと、シルバーシャトルバスの関係については、報告みたいな形になろうかと思っております。よろしく願い申し上げたいと思っております。

地域振興課大信田課長

ありがとうございます。それでは、会に入ります。進行を会長をお願いいたします。

加藤進会長

さっそく、会に入りますが、その前に、会議の議事録署名委員を私の方から指名させていただきます。伊藤昭子委員と草薨太郎委員にお願いいたします。それでは、おてもとの会議次第に基づいて進めさせていただきます。「地域枠予算について（地域活性化推進事業の追加）」について、事務局より説明お願いしま

す。

地域振興課鈴木副参事

平成 18 年度の地域枠予算で「地域活性化推進事業（県民栄誉章受章小松由佳文化講演会）」を行いたいという趣旨であります。

資料 1 地域枠予算事業説明書により事業目的、概要、効果、予算について説明。太田地域の各学校でも大変理解を示されまして協力したい、是非お話を聞きたいということでもあります。実施日は、1 月中旬とありますが、1 月 15 日（月）午後 1 時 30 分からと決定になりました。対象は、小学校高学年、中学生、一般市民の合計約 450 人から 500 人です。一般市民 120 人位に対しては、整理券を配りまして、ある程度人数制限をしたいと考えております。小松由佳さんにつきましては、父が太田町出身であり、祖父母は、太田地域に住んでおります。秋田県にも数回こられまして講演をやっております。結構多忙な方のように、この方と連絡を取るには、東海大学の窓口を通しまして今現在いろいろと交渉、準備を進めているところであります。

加藤進会長

ありがとうございました。何かご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

今野勝代委員

すばらしい方を呼んでくださったなと思います。最初は、達成したから呼びするのかと思いましたが、話を聞いて、この方の考え方に私は、感銘を受けました。すごい事を成し遂げればその人生が、最高だとは思わない、何か目標に向かって今やりたいこと、できることをやって、後悔しない時間を刻んで行く事が大事だと思うと話していましたので、すばらしい方だと思います。

加藤進会長

大賛成ですね。はい、ありがとうございます。

他にございませんか。ないようですので、次に移らせていただきます。平成 19 年度の地域枠予算について事務局の方から説明をお願いします。

地域振興課鈴木副参事

来年度の地域枠予算につきましては、先ほど会長のお話の中にもありまして、来年度も継続して予算措置されるということでありまして、額については、はっきりとは示しておりませんが、今年度と同額という考え方で、平成 19 年度の予算要求が今日までの提出期限でありましたので、総合支所内で相談

をして、あくまでも案として提出した資料でございます。

おてもとに委員のみな様から提案いただきましたものを資料としてお配りしております。大変ありがとうございました。いずれ、委員から出された案と総合支所内で検討する案を一緒に検討しながら進めたいと思っております。委員の案と、太田総合支所案を合計しますと 500 万円では、足りないということを考えていますが、いずれ予算がはっきりし次第みなさんに次回の協議会の際にお知らせいたします。(資料2 平成 19 年度太田地域枠予算(案)について説明。)

今年度、実施しておりました、「地域づくり事業補助金」今年度は、5 団体 58 万円の申請がありますが、来年度も引き続き 7 団体 75 万円を計上しました。「自治会街灯設置事業」これについては、今年度は、今のところ申請はありませんが今年度同額の 10 万円を見ております。「芸術文化振興事業」これは、公民館事業であります。今年度も一部実施した事業もありますが、ほぼ今年度と同額の 174 万円を計上しております。「集落会館等周辺施設環境整備事業」これについては、会館の建設、改築については、市の補助金をいただいて、今盛んにやっているところですが、会館の周りの環境整備については、補助がないわけでそのような事業にも原材料の支給等を行うものであります。これは、地域の要望等もあり、新しい事業であります。予算は、161 万円、原材料、機械の借り上げについては市が提供する。作業は地域で、いわゆる協働の街づくりを主体にした事業であります。「地域活性化推進事業・市民の集い(集落座談会)」これは、今年度も実施した事業ですが、来年度も実施してまいりたいということで、8 万円の計上であります。それから、「花いっぱい運動推進事業(学校花壇も含む)」ですが 52 万円、今年度は、予算が付かないということで地域枠予算から各学校花壇を整備しましたが、平成 19 年度は、予算要求はしますが、どの程度予算が付くのか不透明なところもありますが、この程度地域枠予算で確保しておきたいということでもあります。それから、「立教大学野球部夏季合宿」ですが、毎年立教大学の野球部が夏季の合宿に来ているわけですが、その中で地域の小中学生の児童・生徒に野球の指導をしているということでもあります。主に立教大学の後援会が主体になって実施しているわけですが、是非支援できないかという要望がありまして、野球部の指導謝礼として 20 万円を計上しました。以上合計しますと 500 万円であります。

委員提案の地域枠予算について説明。小松誠委員からの「太田の秋まつり」・「秋田わか杉国体歓迎幟旗 1 家族 1 本運動と移動花車」福原榮司委員からの「活性化推進事業」として、・基幹産業である農業の活性化・各界の著名人の文化講演会・太田地域を語る市民の集い開催事業・花いっぱい運動を強力に支援、「冬期間のひとり暮らし世帯高齢者への支援事業」、「委員レベルアップ推進事業」、お話ボランティア「いろいろの会」代表佐藤田鶴子さんからの提案について、昨

年度活発に活動されまして、参加者が増えているということでもあります。この事業については、地域枠予算の中の地域づくり事業の補助金にも該当なるのでは、と考えております。いずれ委員からの提案については、太田総合支所提案の事業と合わせて、検討をしていきたい。何かご意見等ありましたら、お聞きしたいと思っております。以上です。

加藤進会長

ありがとうございました。何か、ご意見ありませんか。

小松誠委員

今回で5回目の地域協議会ではありますが、われわれは、地域枠予算の審議に時間を費やしてきたようなかたちですが、そろそろ本来の役割であるこのような地域の課題に眼を向けて、もっともっと掘り下げて委員の中で審議していくことによって、いろんなアイデアが生まれてくると思う。そういう形の地域協議会を今後みんなで作って行ったらどうでしょうかという提案であります。

加藤進会長

はい、大変結構な提言かと思っております。

いずれ今、事務局の方から説明してもらいましたが、額にしますと大分の額になりますのでこれの選定がかなり難しくなるのではないかと考えているところです。次回も委員・団体等からの提案は、出てくると思っておりますのでその時にゆっくりと皆さんから協議いただきたいと思っております。今回の地域協議会は、現段階ではこのような提案がありますということでもあります。

草薙太郎委員

福原榮司委員から提案の「冬期間の独り暮らし世帯高齢者への支援事業」ですが、私の勤めの方の社会福祉協議会のサイドでは、昨年は大変大雪だったもので、今年は、市民上げて除雪ボランティアの組織を作ろうと言うことで、明日、12月1日から歳末助け合いが始まりますが、そのお願いのチラシと一緒に除雪ボランティアの登録のお願いのチラシを全戸に配布させていただく段取りになっております。隣近所の助け合いを並行にした除雪ボランティアということで組織したいと思っておりますので、それが結成されますと特別の人夫賃をかけた除雪はなくなっていくのではないかという感じを受けましたので、是非除雪ボランティアをやっていることを皆様にお知らせいただきたいと思っております。

加藤進会長

ありがとうございました。それでは、先ほど話したとおり次回に検討すると言うことでよろしいですか。そのようにさせていただきたいと思います。次回まで勉強してきてください。

伊藤昭子委員

すみません。お話ボランティア「いろりの会」の提案で 10 万円とありますが、これは、東小学校地区の方でやっているものですが、南地区の方にも北小学校、南小学校を対象にやっているグループがありますが、グループで相談して提出したいとした場合これからでもよろしいですか。

加藤進会長

これからでも出してください。どうぞ。ただ、必ずしも出来るか出来ないかは、いえないと思いますが。それは、皆さんで検討することになると思います。

伊藤昭子委員

これは、人数制限とかはないですか。

地域振興課鈴木副参事

地域づくり事業補助金の場合は、おおむね 7 ~ 10 人ぐらいです。

小松誠委員

地域枠予算は、今年分、全部使わない場合戻すのですか。

加藤進会長

太田地域の場合 99 パーセントぐらい使っているのではないですか。

地域振興課鈴木副参事

今現在、490 万円ぐらいです。500 万円目いっぱいだと思います。

鈴木弘之委員

平成 18 年度地域枠予算ですが、若干余裕があるとすれば、私スポーツ関係の方をやっておりますが、皆さん春の甲子園の際、太田の子供たち 2 人が大活躍して甲子園のお立ち台に上がりましたよね。今高校 3 年生ですけどもあの子供たちがスポーツ少年団に入っていたときに、プロ野球の選手の方々が太田町に来て、野球教室を開催しましたがそのときに指導を受けました。第 1 期生であります。野球の話で恐縮ですけども、太田の活性化にもつながっていると思

われます。たまたま、今年の8月、太田の球場で北海道日本ハムファイターズと楽天イーグルスとのイースタンの試合が行われましたが、日本ハムの選手の中に大仙市西仙北地域に在住の選手がおりまして、伊藤剛という方ですがピッチャーをやっているんです。正月に実家（妻の）に帰ってくると言うことですのでこの方を招いて子供たちを対象に野球教室をやっていただきたいと考えまして次回の協議会に計画書を提出しますので、若干の旅費等地域枠の中から出していただきたいと考えておりますのでどうかよろしく願いいたします。

倉田良子委員

時間が少し足りないですね。早く計画書を提出したほうが良いのでは。

加藤進会長

はい、わかりました。そういうことでよろしく願いします。

平成19年度地域枠予算については、次回の協議会で検討したいということで次に移らせていただきます。

その他ですけれども、シルバーシャトルバス運行事業の課題検討について事務局の方から説明をお願いします。

地域振興課小松主査

シルバーシャトルバス運行事業の課題検討について説明。

加藤進会長

行政としては、まだ具体化はされておらないということですね。

地域振興課鈴木副参事

今のところ、国土交通省の改正の説明があったばかりで今現在は、大仙市としてなんとすればいいのか、いろいろと検討している段階であります。ただあまりにも急な話でありまして、いずれ、有料化するという市長の考えでありますので、支所としては、平成19年度はいろいろと検討しなければならないこともあるので準備期間とし、平成20年度4月から動きたいと言うように考えております。いずれ市としてどのようにすればいいのか地域協議会がメインになっていろいろ意見を出し合って検討していただくことになると思いますのでよろしく願いしたと言うことであります。

田口誠毅委員

シルバーシャトルバスは、太田地域だけですか。

太田地域で雛形を作れば、他の地域でも利用できるということですね。

事務局

そうです。南外地域でもやりたいという声がありますが。

加藤会長

行政としては、有料化ということで検討していかなければということであるようですが、結論がはっきりとしておらないようですので今後、何回も地域協議会が開催されると思いますのでその時点で皆さんからご意見を拝借したいと思っておりますのでよろしく願いいたします。今回の協議会はこれで閉じらせてもらいます。急いで申し訳ありませんでした。次の会もよろしく願いいたします。

議事録署名委員
